

倫理委員会で承認された説明文書を用いて本研究の目的を

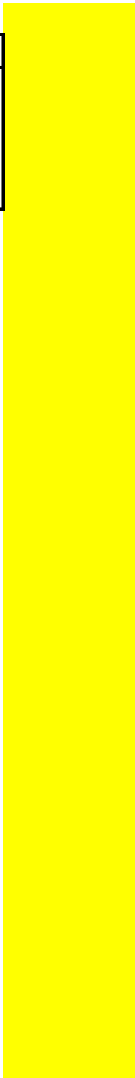
(告知同意書に同意した上で)

(遺伝子カウンセリングを含む) 本研究では通常採血の際に約

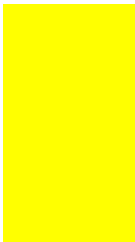
(皮下血腫や袖経障害等発生した場合に 通常の保険診療に上り対
C型肝炎ウイルス遺伝子変異の解析は現在保険認可されてい
全患者におこなうことは困難である。遺伝子変異の頻度を
(E)ダクラタスビル併用療法の効果を検討する。

各委員:出席者全員一致で承認。

薬剤科長	記録者



：ロン注射を必要としないアスナプレビル
（剤内服）。この治療法で
変異があると約40%まで効果が低下する
。今回同治療の対象となりうるC型肝炎
る。



ある。ヘルシンキ宣言
る。研究実施に関する
する。またデータの授受

説明し、本研究への

15mlの血液を採取する。

対応する予定で
はない。また費用面からも
解析し、アスナプレビル+

